

事業概要

【事業目的】

少子高齢化に伴う担い手不足による鏡川流域の自然資本の荒廃等の課題解決に向けて、地域のニーズ調査及び関係審議会等の意見を踏まえ、鏡川流域の自然等の地域資源への多様な関わりを創出・拡大し、流域における相互連携・相互補完の関係構築による持続可能な清流保全を図るもの。

【事業内容】

●令和3～5年度

①鏡川流域の自然と人をつなぐ人材の育成（鏡川流域関係人口講座）

②鏡川流域関係人口ネットワークインフラ（電子地域ポイントシステム）の活用：スマートフォンアプリ「まちのコイン（高知市版：ぼっちり※以下「ぼっちり」と記載）の活用による多様な関わりへの可視化及び経常化

★受講生数（令和3～5年度）：407名

●令和6年度～

①鏡川流域関係人口講座受講生等（※以下、受講生と記載）の活動の伴走支援

②「鏡川流域関係人口創出事業」におけるネットワークインフラ（電子地域ポイントシステム）の活用

★伴走支援を行った企画数：25件（※令和7年10月10日現在）

※伴走支援：受講生等が鏡川流域の自然資源を活用した企画等を実行するにあたり、経費、広報、人的ネットワーク等の支援を行うもの。令和6～7年度は（株）ぼっとうちに事業を委託。



【全体を通じた事業成果】※令和7年10月10日現在

- ・事業を通じて生まれた企画等数：167件
- ・企画参加者数：約2,594名
- ・「ぼっちり」のユーザー数：3,093名
- ・鏡川上流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数（「ぼっちり」の利用回数を集計）：40,510回
- ・本課広報「鏡川流域パートナーシップだより」発行数：243回
- ・企業版ふるさと納税等による寄附総額：25,980,000円

「2017鏡川清流保全基本計画」との関連

鏡川流域関係人口講座における取組及び受講生等が考案した企画は、「2017鏡川清流保全基本計画」の各施策に関連し、本計画の推進力となっている。

目指す姿		施策		鏡川流域関係人口創出事業における取組（一例）	
「水と水辺」の保全と活用	1	水質の維持及び向上	②「鏡川みどりの広場でのクリアカヤック体験等（令和4年度鏡川流域外関係人口講座）→施策6「親水性のある水辺」		②「鏡川での体験プログラムを考案（令和5年度鏡川流域内関係人口講座）→施策6「親水性のある水辺」
	2	地域特性を踏まえた継続的な水質の監視			
	3	安心して良好な水の保全			
	4	適正な水利用の促進			
	5	河川の連続性の確保及び自然河道の保全と再生			
	6	親水性のある水辺			
「森」の質的向上	7	森林整備の促進による森林の公益的機能の向上	②「土佐山学舎等での環境学習→施策9「森林環境の多様な活用」		②「土佐山等の放置竹林の散策及び「食べる」という消費者の視点から放置竹林等の課題解決に関わるイベントを企画（令和4年度受講生等考案企画）→施策10「森林整備への理解の促進」
	8	持続可能な林業の促進			
	9	森林環境の多様な活用			
	10	森林整備への理解の促進			
	11	森林整備の担い手対策			
「生きもの」の多様性の確保	12	流域の動植物と希少動植物の実態把握と保全・保護対策	②「スマホアプリ「Biome」を活用し、高知大学生と連携した宗安寺での生きもの調査→施策13「多様な生きもの」の生息空間の保全と再生		②「スマホアプリ「Biome」を活用した鏡吉原での生きもの調査（令和5年度受講生等考案企画）→施策13「多様な生きもの」の生息空間の保全と再生
	13	多様な生きものの生息空間の保全と再生			
	14	外来生物及び有害鳥獣への対策			
「景観」の保全・形成	15	区域指定の推進	②「坂口地区に「交流ノート」を設置→施策16「景観の保全・形成を推進するしくみづくり」		②「久礼野地区の里山散策イベントをエ石山青少年の家と共催→施策16「景観の保全・形成を推進するしくみづくり」
	16	景観の保全・形成を推進するしくみづくり			
「まち・ひと・しごと」の活性化	17	鏡川の情報発信と共有	②「本課広報「鏡川流域パートナーシップだより」及び「ぼっちり」を活用した各企画の情報発信→施策17「鏡川の情報発信と共有」		②「土佐山学舎の生徒と生きもの調査、高知大学生と鏡川の現地実習等→施策18「環境学習の推進」
	18	環境学習の推進			
	19	鏡川の魅力を伝える人材の確保・育成			
	20	流域産業の活性化			
	21	流域観光の活性化			
	22	流域内の交流促進			
	23	清流保全活動にかかる支援・連携のしくみづくり			
	24	清流保全活動の拠点づくり			